



かわにし

# 議会だより

## 平成20年 9 月定例会

### 目次 INDEX

- 平成19年度決算認定 …………… 2 - 4
- 水道健全化に向け料金改定…………… 5
- 町政をただす …………… 6 -11
- 条例・人事・意見書 ……………12-14
- 委員会レポート……………15
- 町民の声……………16



緑と愛と丘のある町

● 発行／山形県川西町議会

● 編集／議会広報特別委員会

〒999 - 0193 山形県東置賜郡川西町大字上小松1,567 TEL 0238 (42) 2111

HP [http:// www. town. kawanishi. yamagata. jp](http://www.town.kawanishi.yamagata.jp)



夢いっぱい！砂あそび

# 財政健全化に向け起債(借金)発行を抑制

## 町債2億7,000万円の減少

平成19年度の一般会計と介護保険など5特別会計、水道事業会計決算認定のための、決算特別委員会が設置され、2つの分科会に分かれて審査を行った。所得譲与税の廃止や地方交付税の縮減等の厳しい状況の中、歳出総額の抑制と施策の重点化が絞り込まれた。最終日、全員賛成により、各会計とも可決認定された。

次のページのグラフは、一般会計の決算状況である。昨年の収入は、77億7,352万円、支出が76億9,142万円である。

に伴って1億2,147万円、40.6%と大きく減少した。

さらに厳しい財政運営

差引き8,210万円となり、単年度収支は1,658万円の赤字となり、これに財政調整基金への積立金3,962万円を加え実質単年度収支は5,620万円の赤字となった。

支出では、雪冷房システム整備事業に2億6,203万円など投資的経費の普通建設事業費が、前年度対比で9.6%増となった。公立置賜総合病院補助金に10億1,885万円(うち交付税措置8億6,232万円)、

本町財政は、依存財源で最も大きい地方交付税の動向に左右される状況のなか、次年度以降の交付額も不透明の中である。特に、本年度からは財政健全化法の施行により、

最大財源である地方交付税は、総額で40億6,185万円で構成比の52.3%で前年度対比で1%減少した。町税は、税源移譲により13億9,960万円で前年度対比で13.3%の増となり、一方で、所得譲与税が廃止

指定管理料として、各地区公民館、町民総合体育館、フレンドリープラザ、浴浴センターまどか、斎場等となっている。平成19年度末における公債費残高(借金残高)は、94億5,129万円で前年度末より2億7,040

普通会計と公営企業会計を連結し健全化判断比率、即ち、実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率及び資金不足比率と、より広範囲での指標策定が義務づけられ、厳しい財政運営が求められる。

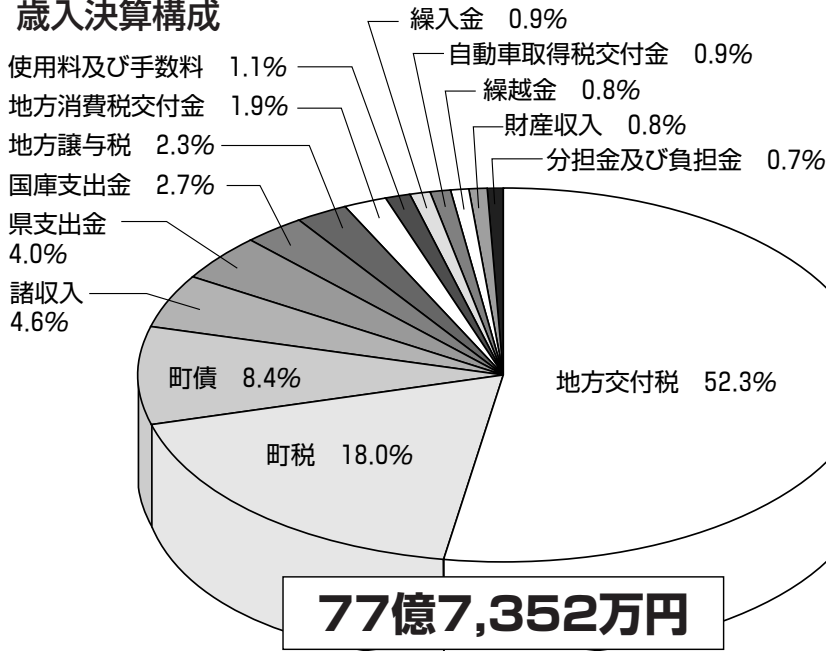


新エネルギービジョンで導入された雪冷房システム



# 平成19年度 一般会計決算状況グラフ

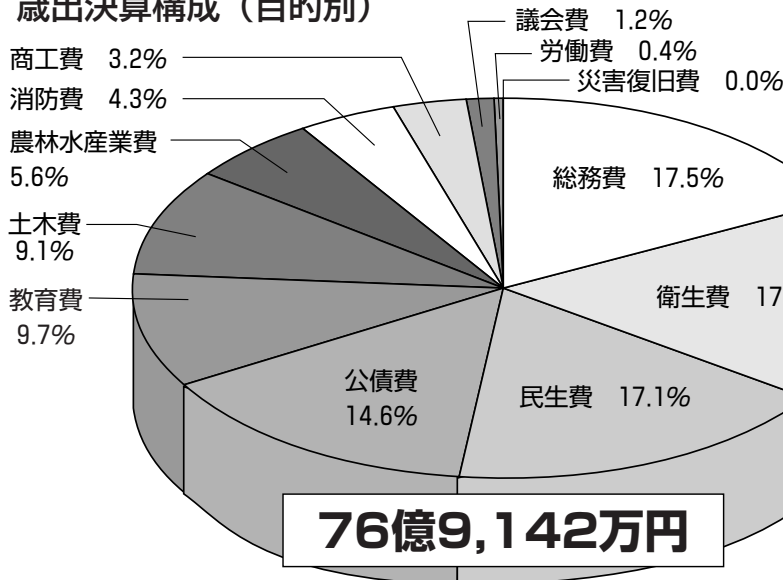
## 歳入決算構成



(千円)

歳入	決算額
地方交付税	4,061,852
町税	1,399,606
町債(借金)	651,123
諸収入	358,286
県支出金	310,059
国庫支出金	209,945
地方譲与税	177,834
地方消費税交付金	152,015
使用料及び手数料	84,617
繰入金	71,499
自動車取得税交付金	70,565
繰越金	65,526
財産収入	62,258
分担金及び負担金	56,257
ゴルフ場利用税交付金	12,964
地方特例交付金	9,095
配当割交付金	6,083
利子割交付金	5,163
交通安全対策特別交付金	4,771
寄附金	2,273
株式等譲渡所得割交付金	1,738

## 歳出決算構成 (目的別)



(千円)

歳出(目的別)	決算額
総務費	1,348,406
衛生費	1,326,304
民生費	1,315,579
公債費	1,120,862
教育費	747,971
土木費	701,802
農林水産業費	429,429
消防費	331,531
商工費	243,498
議会費	95,895
労働費	30,144
災害復旧費	0

### 分科会審査のあらまし

分科会は各常任委員会単位で構成され、当該委員以外の議員も傍聴発言できるよう日程配分される。

#### 第一分科会

問 不法投棄防止対策について

答 不法投棄防止看板の設置、春秋パトロールのほか、不法投棄監視員9名を委嘱して監視活動や指導勧告を行っている。地元住民、川西町衛生組織連合会、置賜地区不法投棄防止対策協議会等と連携し、町内2カ所の大規模な原状回復作業を実施した。

問 中心市街地再生街づくり創造事業について

答 諏訪峠の復元と保存活動について、県の補助金を活用し小松地区地域づくり協議会の中にある諏訪部会へ事業を委託し、雑木の伐採や復元作業を行っている。

問 不納欠損額について

答 リゾート関連会社の廃業に伴い、平成19年度末に固定資産税及び特別土地保有税5億2,045万円の不納欠損処分を行った。

#### 第二分科会

問 川西ブランド確立事業について

答 産直加工事業として行う場合は、設備を整備する手続き等ソフト面の支援を行っている。米沢牛と紅大豆の里づくり事業で開発された商品の販売は、主に東京近郊の百貨店等であり、地元では食の見本市等で開発商品の販売を行ってきた。今後は、お中元やお歳暮などへの利用を図っていく。

問 舗装修繕(オーバーレイ)の実施路線について

答 道路管理との調整、連携を図りながら、幹線道路を中心として劣化が激しい路線から実施している。

問 強い農業づくり交付金事業について

答 採択要件は、5戸以上の共同組織であり農業機械利用に係る燃油の使用料を10%以上低減が条件である。遠赤外線乾燥機は1/2の補助である。

各分科会では、担当課の説明の範囲を超える問題について、町長の出席を求め、直接政策を聴く機会を設けている。質疑の内容は次のとおり。



税は、町の原動力

**問 不納欠損処分と未収対策について**

町長 不納欠損については、時効年数が経過した場合と課税の執行停止の二つのケースがあるが、いずれの場合も生活実態を十二分に調査、把握し、たうえて不納欠損の処分をさせていただいている。取納対策については、電話催告や文書催告のほか、納税者の自宅に赴き直接折衝による滞納整理をしている。平成18年度からは国保会計の納税相談員とは別に税金全般の相談員として新たに2名を増員し、訪問徴収を行うなど、徴収確保や滞納額の圧縮に努めている。誠意が見受けられない滞納者には、法律に基づき財産差押え等の滞納処分を実施している。平成19年度末で26件、債権差押えについては、国税還付金のほか、預金、給与、不動産

**平成19年度 特別会計**

会計名	歳入決算額	歳出決算額
国民健康保険事業特別会計	19億8,878万円	19億7,986万円
下水道事業特別会計	9億4,336万円	9億2,487万円
老人保健特別会計	20億4,592万円	20億3,492万円
農業集落排水事業特別会計	7,846万円	7,807万円
介護保険事業特別会計	14億7,117万円	14億6,427万円

**平成19年度 企業会計**

会計名	収入決算額	支出決算額	
水道事業会計	収益的	4億4,335万円	4億9,726万円
	資本的	3億2,870万円	5億5,669万円

資本的収支不足額は損益勘定留保資金(2億2,799万円)で補った。

**問 水道事業会計における資金不足及び緊急時給水拠点確保施設整備工事の経過について**

町長 資金不足については、貸借対照表上、流動資産と流動負債の差が資金不足の額である。施設整備工事の経過については、資金計画は国庫補助金と水道事業会計積立金充当で行い、実施設計業務委託を19年4月発注、工事は同年8月7日請負契約締結、20年1月15日変更契約締結し、

1月30日工事完成した。工事完成検査後に請負代金請求書を受領したが、資金調達に時間を要したため支払遅延となった。

また、水道事業会計に携わる職員の業務が一人に集中しないよう、職員間の連携を図っていく。**意見** 水道事業会計は企業会計なので、独立性を保たなければならない。経営健全化のための組織体制整備を図り、町民の信頼を得るため最大限の努力をするように。

# 水道 決算徹底審査の末 認定 経営健全化に向け料金改定



川西の水がめ八幡原配水池

平成19年度水道事業会計認定と、水道事業給水条例の改正案は、決算、予算特別委員会の第2分科会で審査された。  
水道会計は5390万円の赤字、4387万円の資金不足となったが、その原因と対策、水道料金の改定について、徹底した審査が行われた。議会最終日に一部の反対があったもののそれぞれ認定、可決された。

## 審査の概要

### 水道事業会計決算

**問** 19年度中、資金不足に対応し一般会計から現金を繰替（7回、合計9400万円）しているが、財務規則どおり行われていないのではないか。

**答** 決済規程の見直しを行った18年12月から担当課長の起案、会計管理者、改革推進課長の決済としてきた。事の重要性に鑑み、今後は規則どおり町長の決済によって行う。

**問** 流量調整機能を兼ね備えた緊急遮断弁工事費の支払が、約50日遅延したのはなぜか。

**答** 資金不足が生じ、資金調達に時間を要し、組織として判断する時機を逸したにより、支払遅延となった。今後は資金計画と支払計画を精査し、契約先に迷惑がかからないように注意する。

**問** このような事態を招いたことに対する責任の所在の明確化と、経営改善計画の策定が必要であると思うがどうか。

**町長** 決算状況、資金不足を招いたことに対する経営者としての責任がある。

経営改善計画を早期に策定し、議会に示したい。

### 水道給水条例の改正

水道料金収入による収支均衡を図るため、料金改定を図ることとし、

①用途別から口径別とする  
②準備料金と水道料金を組み合わせる。  
③基本水量制を廃止する。  
④料金算定期間は5年間とし、安定した経営にした

い。  
⑤改定は20年12月の分から。  
⑥独身、高齢者世帯等の、少量利用者に配慮する。  
⑦料金負担が大きくなる一部利用者のため、3年間値上げ幅の限度額を段階的に3、4、5割と設定する。

とする改正が行われる。  
**問** 経営改善計画の早期策定について

**町長** 各費用の削減、事業の精査、漏水対策の強化による有収率向上、水道料金の収納対策、起債借換等償還平準化など、それぞれについて数値目標を明確にし、10月末まで経営改善計画を策定する。

**問** 資金不足の一要因である未収金回収対策をどうするか。

**町長** 水道会計は独立採算であり、水道料金収入で

運営される。未収金の増加により健全化が損なわれている。債権の管理や給水を停止する基準などを整備し、給水停止を含む収納強化に努める。

**問** 改善計画の進行管理をどうするか

**町長** 現在の状況に陥ったのは、経営状況の分析が不足していたためで、高料金対策終了後の料金見直し、資本投資額の増加時期、内部留保資金の枯渇に至った時期など、それぞれ検討する機会を見過ごし、適切に対応できなかったことから、

①企業会計に携わる職員の経営意識の強化と組織整備  
②町経営会議での事業実施計画確認と業務の進行管理

③予算執行における関係各課との協議体制の確立  
④水道委員会への定期的な報告と重要事項の審議依頼

⑤定期的に所管委員会を通じ議会に報告  
以上のように、改善計画の実行については透明性を確保するとともに、常に見直しを図りながら着実に進めていく。



### 置賜広域病院組合枠組みは

町長 呼び掛けがあれば応ずる



高橋 輝行 議員

れているのか。

町長 東南置賜二市二町による合併について、協議を断念せざるを得ない結果となった。すべてご破算ということではなく、今回の経験を活かし、将来的には力を合わせる時期も来るものと考えている。置賜広域病院組合の枠組みでの合併については、合併に対する基本的な考え方を受けた課題の整理がされるまで、相当の時間を要すると考えられることから、合併新法期限内での合併を前提とした場合、協議のテーブルがつくられること自体困難な時期に至っているのではないかと考えている。

(2010年3月)は時間的に難しいと思う。期限や枠組みを問わず(他首長などから)具体的な呼び掛けがあれば応じる。また、拒否する理由はないと考えている。

#### 小中学校の統廃合は

高橋 小中学校の統廃合のスケジュールは。

教育長 平成19年11月から12月にかけて広く住民の皆さんを対象とした座談会を開催してきた。地域の拠点施設である学校が無くなることへの懸念などのご意見を多数賜ってきた。現在、新たな中学校の平成23年度開校と中学校での給食の実施を打ち出している。また、小学校の通学区域の見直しに関しては、地域振興との兼ね合いもあり更に検討を継続していく。

#### 副町長の職務は

高橋 助役に代えて、副

町長 特例法の期限内

高橋 合併に対する基本的な考え方については。町長 第一に今後の基礎自治体の在り方、道州制への視点を考慮すると、合併は避けて通れないと認識している。第二に、町民との情報の共有化である。行政としての考え方を明確化し、町民間の論議を喚起することが必要と考える。

高橋 長井市の内容市長は、市町合併に関し「置賜公立病院組合の二市二町(長井、南陽、川西、飯豊)の枠組みの考え方を示した。私は、この組み合せを積極的に進めるべきものと考え、提案するが、どのように検討さ

町長を置くことになったが、その職務の違いについて何うが。

町長 長の事故等の際の職務代理という従来の助役の機能に加え、長の権

限に属する事務の一部について委任を受け、自らの名前と責任において事務を執行する機能が明示された。



公立置賜総合病院案が急浮上



長井市



南陽市



飯豊町



川西町

## 遅筆堂文庫とアリーナの対応は

町長 連携プレーで貸し出し

淀 文化の殿堂、フレンドリープラザにある遅筆堂文庫には、作家の井上ひさし氏の寄贈蔵書、作品を創作するのに貴重な資料や、多くの小説など、10万冊以上がある。

この度、井上氏の協力もあって、山形市郊外にあるシベール社の「アリーナ」山形館に、本町の遅筆堂文庫から三万冊の貸し出しが決まったが町の対応は。

町長 貸し出しには子供向けの絵本や詩集、俳句などが主で、特に子供や女性の読書熱を盛り上げるためもあり、本町との貸し出しの連携プレーを、



淀 秀夫 議員

スムーズに行きたい。

淀 フレンドリープラザには町立図書館が併設されている。此処には4万8千冊の本が陳列されている。また、農改センターの倉庫にも、井上氏の寄贈本が処狭しと置かれ、収納スペースが手狭になっている。

この度の山形館の開設は渡りに船で、姉妹館として友好を深めてもらいたい。

町長 井上氏へ寄贈されて来る本が、週刊誌なども含めると1年間に5、000冊のものほり、これらの大半の本が本町に収納される。配架スペースは殆ど余裕のない現状。この度の「アリーナ」への貸し出しは、有効活用と考える。

淀 出版物は年々、増加する傾向にあり、本町が本の山となる心配も考えられる。本の選別をする時期が来ているのではな

いか。

町長 井上氏の好意を受け、選別の考えは無い。

## 天地人で町おこしを

淀 来年、NHK大河ドラマ「天地人」が始まる。ドラマの主人公は米沢藩重臣の直江兼続。直江は「愛」の文字をあしらった兜をつけた武将で知られる。直江の弟の大国実頼が、小松で死んでいる。

若手俳優の小泉孝太郎が実頼の弟役を演じるが、例えば、町おこしに小泉孝太郎を招くなど、話題を呼んでみては。

町長 俳優の小泉を招く件は検討したい。しかし、ドラマは1年間で終わる一過性の観光になるため、長続きする観光の方がよいのでは。

淀 関ヶ原の戦い前夜、最上軍との長谷堂の戦いに、途中、上杉軍が小松で野宿するが、この野宿するまでの歩く過程をイ

ベントに取り上げては。

町長 このイベントに関しては、身近なことでも

あり、関係者と相談しながら前向きに考えたい。



直江兼続・お舟夫妻が眠る林泉寺（米沢市）

### 資材高シヨックに対する独自の支援策は

町長 生産意欲が減退しないよう講じていきたい



高橋 照夫 議員

にとって農業の再生、振興を図る上でも独自の緊急的な支援策を講ずるべきではないか。

的支援が図られるよう要請していきたい。

がある。今後、農産物が戦略物資として貿易されることも予想され、これまでに以上に食料自給率、

自給向上に資する作物の生産拡大を後押ししていきたい。

**高橋** 世界的に発生している異常気象や経済成長に伴う食料需要の高まりから穀物需給が逼迫し、世界各地で「食料争奪」が激化するなど穀物の高騰が続いている。今年度に入り、原油価格の度重なる値上げによる各資材の高騰など、農業用A重油価格は4年前の2倍以上、肥料原料も前年よりも2倍、3倍、配合飼料も2年間で50%以上上昇するなど資材高シヨックが続いている。「危機どころか崩壊寸前、これが農家の現状だ。」農家の窮状を訴える集会在、全国各地で開催されている。農業を基幹産業とする本町

に比べて、原油価格高騰により、高騰前の水準と現在を比較した場合、A重油で2.8倍、灯油で2.4倍上昇し、農業への影響が非常に深刻化している。これらの状況を踏まえ、産業振興課に相談窓口を設置しながら情報の提供や対応策の検討を行っている。県においても原油高騰に対応した省エネ技術の導入を新たに補助対象とするなど、採択基準の要件緩和を行い、予算枠の拡充を図るなど、本町独自の振興策として、堆肥センターを中核とした米沢牛をブランドイメージした循環型農業の展開、コストの削減と農産物の高付加価値化を目指すし、生産意欲が減退しないよう支援策を講じていく。また、国等へ抜本

食料自給率の向上策は

**高橋** 農林水産省の2009年度の概算予算要求での最大の目玉は、食料自給率の向上策である。特に米粉、飼料用米、麦、大豆、飼料用作物を「戦略作物」と位置づけし、10万トン生産拡大すると40%の自給率を0.5〜1.0ポイント押し上げる効果があると言われる。本町として国策に順ずることは勿論であるが、一歩先を見据えた独自の食料自給率の向上策への考えは。

**町長** 平成18年度におけるカロリーベースでの食料自給率では、全国で39%、山形県で132%である。更に、自給率の向上を図るには、水田の生産調整の内、156haを占める調整水田や自己保全面積を減少させる必要



石油価格高騰による生産活動への影響は大きい



グループホームを「なくすな」

町長 充実したサービスの提供ができる環境整備を図る

知的障がい者の地域移行施策の充実を求める

齊藤 障がい福祉計画の見直しを求める。川西で暮らせるグループホーム利用者の目標数値はどうか。

町長 現在、第2期計画策定にあたり、現状把握と実績を踏まえ分析作業を行っている。

齊藤 町にはグループホームが9箇所、利用者は46名。障がい者の出身地移行は進んでいない。あと3年で130名のコロナー利用者が「地域移行」となり、グループホーム生活となる。計画では9箇所から3箇所に削減。



齊藤 智志 議員

コロナーを誘致した町として最低でも20のグループホーム(100名)は受け入れるべきでは。

町長 グループホームは、地域生活移行に欠かせないサービス。充実したサービスの提供ができるよう環境整備を図る。

齊藤 北海道の伊達市では、全国に先駆けて知的障がい者の総合コロナーを誘致し、福祉の町を創っている。川西町も第2の故郷として人生を送れるよう、障がい者の町を再構築すべきでは。

町長 地域移行をさらに発展させていくことは重要。課題は財政問題、法整備を求めながら、これまでの経験を生かし町の特徴を生み出し発展させて行く。

齊藤 川西町は、コロナー希望が丘の職員と一体となりグループホーム体制が確立されている。障がいを持った人が生活す

る上で一番条件の整っている町ではないか。

町長 コロナーからは、町として元気を頂いている。また、消費ということでは、多くの経済効果をもたらしており価格競争も大事な問題。町として相談窓口や支援策を今後とも強化していく。

小松駅をコミュニティ・ステーションに

町の市街地活性化の拠点事業にしよう

齊藤 今年の3月24日「町民駅活用推進検討委員会」から4点にわたる提言が出された。提言内容は、①「コミュニティ機能」、②町の窓口の機能、③「販売機能」、④「駅機能」とあわせて「交通サービス機能」である。

4つの機能とあわせて、小松地区公民館の併設と東西自由通路の建設は絶対条件であることを求める。



グループホームを支援するサポートセンター「ココロココ」

町長 町民駅は、町の拠点施設。提言を実現するにはハード整備と運営主体の2つが課題。小松の町づくりを考える場合投資が必要。心配なのは、「建物を建ててから中身をどうする」という議論

となりがち。盛り上がりやどうやって作るか考えて行きたい。自由通路は、2、3億円という整備費用がかかる。現実的な選択肢に入るのかどうか地域の方々と議論が必要。

## 増加する多重債務の対応は

町長 関係機関・団体と連携し、積極的に対応する。



橋本 欣一 議員

の様々な問題を抱えていると思うが、生活全般にわたり相談・助言・援助が必要で、総合的に関与できる行政の役割はますます重要となるが、多重債務相談の専門の窓口と職員を配置できないか。

地方分権・定住自立権構想・道州制はどう考えるか

町長 生活住民課に総合相談窓口を設置し、また無料法律相談などで対応している。

橋本 滞納調査を早急に進め、多重債務の掘り起こしをし、早期対応で問題の複雑化を防ぐべきではないか。

町長 経済、社会の仕組みをはじめ家庭や人間関係までもが複雑に関わり表面化しにくく、行き詰まってから顕在化するため解決をより困難にしている。相談しやすい環境作りや、啓発に努める。

橋本 税金の滞納解消についてはどう進めるか。

町長 滞納者個々の生活再建がまずもって重要で、

生活実態に即して納税相談に当たってゆく。

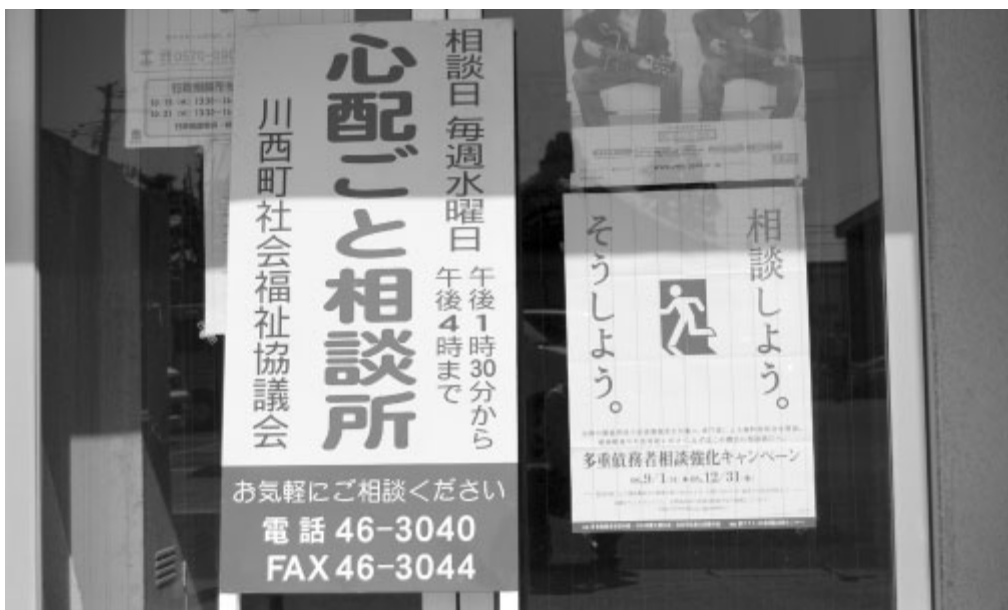
橋本 政府の「骨太の方針2008」では地方分権を進め道州制に道筋をつけると言っているが、

町村には権限委譲は基本的には進めずにはいわば半人前の自治体と位置づける方向である。また定住自立権構想では「もはやすべての市町村にフルセットの生活機能を整備するのは困難」とし、中心市に必要な機能を集約化し、周辺住民が利用する方向で地方切捨てが始まるがどう考えるか。

町長 国と地方の分権、自治体内での地域分権が求められる中で、川西町は「まちづくり基本条例」を基に地方分権の受け皿作りと市町村の枠を超えた広域連携のあり方を含

め、地方自治の確立を目指す。

指す。



「気軽に相談しよう」の窓口を開設



# 川西第二中学校の跡地活用は

教育長 現時点では結論に至っていない



遠藤 章一 議員

**遠藤** 平成23年4月に、現在の川西第一中学校1校にする準備が進められているが、第二中学校跡地の有効利用が重要な事項と思われる。どのような検討がされているのか。  
**教育長** 第二中学校の跡地利用の関係については、現時点で結論に至っていないのが実状である。この跡地の有効活用を図ることによって町民に希望を与え、町政の発展に結びつくことが肝要と考えている。

どのように考えられているのか、また、段階的な統廃合は考えているのか。  
**教育長** 教育環境の整備の面から考えれば早急な具体化が望ましいと思われるが、地域の理解や活性化が進展しない中では、平成25年度の2校体制は厳しいものがあると認識している。段階的な統廃合については、通学区域の見直しに関する計画書においても、重要な手法の一つと掲げられており、積極的に検討しなければならぬ事項と考えている。

ましいと考えるが自校方式の場合1億5000万円、親子方式の場合4000万円程度の経費が必要とみられ、民間委託も現実的選択肢の一つと考えられる。  
**農業生産資材高騰対策を**  
**遠藤** 米価の低迷、更に農業生産資材価格の高騰を受け、農業経営は困窮をきたす状況です。この現状を考えたとき、近隣の町がおこなったように、本町独自の助成が必要と思われる。  
**町長** 国・県の支援策を積極的に推進するとともに、生産意欲が減退しないためにも町として何ができるのか、本町独自の助成も含め検討したい。  
**遠藤** 国は食料自給率向上に向け新たな助成策とし、米粉等への取り組みを考えているが、本町でも積極的に取り組んでは、



統合の対象とされている第二中学校

実績もあり、農商工が連携する形を形成したい。「川西スタイル研究委員

会」を組織したところであり検討をすすめたい。

# まちづくりへの想いを寄附金で ふるさとづくり基金創設

## 条 例

◎川西町ふるさとづくり寄附条例の設定について  
多様な人々の参画による個性あるふるさとづくりに向け、寄附制度による参画型の自治を推進するため制定するもの。  
施行は公布の日から。  
全員賛成により可決

◎川西町監査の執行に関する条例の一部を改正する条例の制定について  
地方公共団体の財政の健全化に関する法律の施行に伴い、審査意見の提出期限を30日以内から60日以内とするものである。  
施行は公布の日から。  
全員賛成により可決

◎川西町特別職の職員に  
給与に関する条例等の一部を改正する条例の設定について  
地方自治法の一部改正に伴い、議員の報酬につ  
いては議員報酬と名称を変更するもの。  
施行は公布の日から。  
全員賛成により可決

◎川西町国民健康保険税  
条例の一部を改正する条  
例の制定について  
高齢者の医療の確保に  
関する法律の一部改正に  
伴い、本条例を改正する  
必要があるため制定する  
もの。  
施行は公布の日から。  
全員賛成により可決

◎川西町水道事業給水条  
例の一部を改正する条例  
の制定について  
水道使用者から徴収す  
る料金を変更するにあた  
り制定するもの。  
施行は12月1日から。  
賛成多数により可決

◎川西町特別職の職員に  
給与に関する条例の一部

を改正する条例の制定に  
ついて  
平成20年度10月分の町  
長及び副町長の給料を減  
額して支給するため制定  
するもの。  
施行は公布の日から。  
賛成多数により可決

地方公共団体の財政の  
健全化に関する法律の施  
行に伴い、地方公共団体  
の長は、毎年度、健全化  
判断比率を監査委員の審  
査に付した上で、議会に  
報告し、公表しなければ  
ならないとされたことに  
より、平成19年度川西町  
一般会計等健全化判断比  
率、水道事業会計等資金  
不足比率について説明を  
受けた。

## 報 告

## 補正予算

### 一般会計

歳入歳出そ  
れぞれ4,2  
24万4千円  
を追加し、予  
算総額を74億  
7,121万4千円とす  
るもの

歳出の主なもの、住  
民税特別徴収電算システ  
ム改修委託料1,679  
万円、税源移譲分還付金  
1,011万6千円、電算  
システム構築委託料73  
5万円、消雪道路設備修  
繕382万3千円、河川  
維持管理工事250万円  
など増額。

歳入の主なものは、財  
政調整基金繰入金1,7  
59万6千円、前年度繰  
越金1,210万円、普通  
交付税824万円。  
全員賛成により可決

### 下水道

歳入歳出そ  
れぞれ594  
万円を追加し  
総額を7億5  
260万円と  
するもの。

歳出の主なものは、汚  
水柵設置、管渠補修工事  
請負費、水質調査委託料。  
全員賛成により可決

### 集落排水

歳入歳出そ  
れぞれ57万6  
千円を追加し、  
総額を8千2  
52万1千円  
とするもの。

歳出の主なものは、汚  
水柵設置工事費、排水管の  
修繕料。  
全員賛成により可決

### 介護保険

歳入歳出そ  
れぞれ854  
万3千円を追  
加し、総額を  
15億6,54  
6万1千円とするもの。

事業の確定に伴う補正  
全員賛成により可決



# 人事

## 教育委員会委員の任命に同意

平成20年9月30日で任期満了となる教育委員の任命について同意した。



山田 一郎(新任)  
住所 川西町大字時田  
314番地の2  
生年月日 昭和25年11月14日



齋藤 光夫(再任)  
住所 川西町大字上小松  
1834番地の15  
生年月日 昭和37年7月25日

## その他の決議

◎花丘町下小松線道路改良工事(2工区)請負契約の締結について

指名競争入札により株式会社・殖産工務所と

7,959万円で契約。  
全員賛成により可決

◎川西町土地開発公社定款の変更について

公有地の拡大の推進に関する法律及び土地開発公社経理基準要綱の一部改正に伴い、定款の一部を変更するもの。  
施行は12月1日から。

全員賛成により可決

# 願 情 請 陳

## 採 択

◎原油・生産資材価格高騰等に関する緊急対策確立に向けた請願

《請願者》

川西町大字上小松978-1  
山形おきたま農業協同組合 経営管理委員会会長  
山形おきたま農協農政対策本部長 木村敏和

◎地方財政の充実・強化を求める請願

◎地域医療の拡充を求める請願

◎生活用品の物価高騰に対する緊急対策を求める請願

《請願者》

米沢市塩井町塩野1-1  
日本労働組合総連合会置賜地域協議会(連合置賜)  
議長 金子 浩

## 陳 情 書

◎肺炎球菌ワクチンへの公費助成に関する陳情書

肺炎は全死亡原因中依然第4位を占めており、特に高齢者にとっては肺炎は深刻な問題である。欧米では、ワクチン接種が強く奨励されている。

肺炎球菌ワクチンは、1回の接種で5年以上は有効であり、1年の負担でみると2千円程度と格安である。インフルエンザワクチンは高齢者に対し、2001年より公的助成がなされているが、肺炎球菌ワクチンを追加することにより、更に高齢者の肺炎による死亡、入院を減少させることになり医療費の削減、健康福祉の向上につながる。

◎石油、肥料、飼料、農業資材の高騰対策の実施を求める請願

《請願者》

川西町大字小松1300  
川西町農民組合  
平田啓一

## 継 続

◎運行協議会開催に関する請願書

委員会として意見の集約に至らず。審議未了につき継続。

《陳情者》

山形県保険医協会  
理事長 国井兵太郎



生産資材の高騰対策が急務

◎原油・生産資材価格高騰等に関する緊急対策確立に向けた意見書

原油価格は異常で大幅な高騰を続けており、その影響は石油製品価格のみならず、生産資材価格等幅広く及んでいる。

生産者団体や農業者の自助努力だけでは解決できない危機的な事態に陥っており、国において万全な対策を講ずること。《提出先》衆参両院議長他

◎地方財政の充実・強化を求める意見書

医療、福祉、環境、ライフラインなど地域の公共サービス水準の確保と地方分権推進に向けて、国・地方の税収配分5対

5を実現する税源移譲、地方交付税機能の強化により地方財源の充実強化をはかること等について強く求める。《提出先》内閣総理大臣他

◎JR不採用問題の早期解決を求める意見書

国鉄が分割民営化され、JR各社が発足する過程で発生した職員不採用問題が未解決のまま長期化しており、問題発生から既に21年が経過している。政府においては、早期解決に向けて努力されるよう強く要望する。《提出先》衆参両院議長他

◎地域医療の拡充を求める意見書

崩壊の危機に直面している地域医療の再構築をはかるため、国による一層の財政支援措置を講ずること。また、地域医療を担う医師・看護師などの確保と養成のための必要な施策を拡充するとともに、必要な財政的支援体制を国が行うことなど、全国民が安心して信頼ので

きる医療を地域で受けられるよう強く求める。《提出先》衆参両院議長他

◎生活品の物価高騰に対する緊急対策を求める意見書

原油や食料の高騰に伴う実質所得低下を緩和する

るために、生活困窮者に対する支援制度の拡充、上乘せを行うこと。《提出先》衆参両院議長他

議会モニターから一言(5)



問題意識を持って出来る事から行動しよう

吉島 平 真 喜

会社を退社して6年、それまで政治、町政等全く関心がなかった私、と言うより生活に追われればどころではなかった様な気がします。その後は色々な社会の出来事が耳に入る様になり政治に対する不満、矛盾で失望さえ感じる昨今でした。

そんな時、議会モニターの良い機会と考えて承諾しました。ドキドキの気持ちで議場に足を運ぶ事になり種々の問題について熱い討論、身近な内容ばかり、どれをとっても重要な事柄であり、大変さを痛感しました。市町村合併、学校統廃合、

子育て環境等、本当に多くの問題に取り組み、解決が迫っているんだと私でさえ胸が苦しくなる思いでした。このスピード時代に、今迄の様にどっぷりぬるま湯に浸っている様ではダメだと思ふ。議員の皆様は町民の代表として町の為に今こそ命がけで取り組んでほしいと切に思います。岩手県出身のあの宮澤賢治の思想を持って進んでほしいです。

そして私に出来る何かをやってみようと思った事があります。一つは議会傍聴への誘い、二つ目は合併によって川西町の名が忘れられる事がない様に、町外の友人へ川西町へ足を運んでもらう事です。ダリヤ園、浴浴センターまどか、フレンドリープラザ等、大いに川西町をアピールして楽しんでもらっています。この様な事も「議会モニターとしての役目」かしらなんて考えながら行動したいと思っています。税金を納めている一人一人が町政を知る権利があり、また一つでも、興味、疑問を持ち対応する事が町の発展にもつながるのではと思っています。皆さん、町に関心を持って生活しようではありませんか。



# 委員会 レポート

## 総務文教常任委員会

### 安全・安心の学童保育

8月29日、学童保育について現状調査を行った。

本町の取り組みは、まだ歴史は浅いが、平成13年に小松地区で公設民営で開設したのが始まりで、本年4月より吉島・中郡両地区でも民設民営での事業をスタートさせた。

### 今後の日程

- ◎総務文教  
・収納対策についての先進地調査
- ◎産業厚生  
・上下水道事業の事務調査
- ・川西町商工会役員との意見交換
- ◎議会運営  
・次期議会の議会運営に関する事項及び議長との諮問に関する事項

現在の登録児童数は、げんきクラブ（小松）が34名、きらり（吉島）は16名、すぎの子クラブ（中郡）5名となっている。対象児童については、補助対象となるのが3年生までとなっており「げんきクラブ」、「すぎの子クラブ」は、3年生までとしている。「児童クラブきらり」は、事業の取り組みに際し地区内アンケートで6年生までの受け入れ希望が多かったことから6年生までとしている。

各クラブとも学校との連携をとっており、児童が慣れるまで学校へ迎えに行くなどの対応をしている。指導員の資格についてガイドラインでは、指導員のうち1人は有資格者（保育士）がいるのが望ましいとしているが町内3クラブ共、有資格者が在籍し交替により常時複数で対応できるようにしている。また、保護者を年数回開催し情報交換を密にし、安全な保育を心がけている。



すぎの子クラブ（中郡）

課題としては、元氣クラブではスペース的に限界であり、これ以上の受け入れは難しいとのことであった。

今搬、放課後児童クラブの実態に触れ、児童にとって安全な居場所であり、親も安心だろうとの思いを強くした。

## 産業厚生常任委員会

### 6次産業の時代

7月22日、23日にかけて、新潟県十日町市、同三条市の地域営農集団2つを視察調査した。前者は平成17年に設立された（株）千手（せんじゅ）。信濃川沿いの河岸段丘地帯に点在する山村で事業が展開されている。従来の生産組合や機械利用組を前身としてスタートし、株主は345人、資本金2,306万円、総売上3億2,700万円である。

7月22日、23日にかけて、新潟県十日町市、同三条市の地域営農集団2つを視察調査した。前者は平成17年に設立された（株）千手（せんじゅ）。信濃川沿いの河岸段丘地帯に点在する山村で事業が展開されている。従来の生産組合や機械利用組を前身としてスタートし、株主は345人、資本金2,306万円、総売上3億2,700万円である。

もちろん販売の主力は魚沼コシヒカリ。単価はキロ600円にせまり、会津、山形などの後追いを振り切る形で地域をあげて単価向上に邁進している。餅加工やレーザー整地、精白米販売などで事業の拡大にも意欲的だった。生ゴミ堆肥センターと「有機の里川西」という住民組織のあり方も注目すべきものがあつた。



尾崎泉地区生産組合の役員と

子供たちが夢中になつて「砂遊び」を楽しんでいる小松保育所の風景。自らが「自由に創造し創作」している。この遊びにこそ、幼児期における「学校の原点」を感じる。いつの間にか「競争」があたりまえの時代になった。人間動物が生まれながらにしてもっている人間らしさ、想像力、感性、協調・協働を育むことが今求められている。「協働の町川西」にふさわしい小学校・幼児施設のあり方を考えてみてはどうだろうか。



表紙の写真

# 町民の声

## 元気百倍な老人と 二輪の花

大塚 保科 ゆかり



子供は我が家の宝物

「町民の声」の依頼を受けて、まず思った事は、「高齢者との同居」と「子育て」の事でした。

我が家は90歳を筆頭に1歳児までの8人家族です。ただでさえ、両親との同居を避けたがる時代に4世代家族と言うと友達はみんな驚きます。しかし、川西町では我が家のような大家族は珍しいものではないはず。

私自身、川西町に嫁ぎ5年が過ぎようとしていますが、まさか自分が大家族の、しかも、専業農家に嫁ぐなんて事は夢にも思いませんでした。結婚にも、出産にも、子育てにも、大きな理想があっただけに、世代の違う人達の集まりの中で、自分の考えがうまく伝えられなくて、理解が得られないもどかしさに苦しんだものでした。

### 明るい二輪の花

それは、5年経つ今でも同じですが、今では、そんな苦労も苦労とは思わなくなりました。それはやはり、出産、子育てが転機となってい

ると思います。

大人だけ7人家族だった我が家に待望の長女が誕生したのが3年前。それまで大人だらけで、雑木林のようだった家庭に一輪の花が咲きました。

その1年後、立て続けに二女が生まれ、花が二輪となりました。たった二輪なのに、今までは比べようもないほど明るく、笑顔が溢れる家庭になったのです。

しかし、子育てとは大変なもので、体力はもちろん、精神力の強さが必要となります。

### 元気印の祖父母

それは介護も同じではないでしょうか。

我が家のじいちゃん、ばあちゃんは大正生まれですが、2人とも病気にせず、毎日畑仕事に精を出しています。その元気がぶりは、20代の私でも度肝をぬかれるほどです。ですから、介護とは無縁の今を過ごしています。しかし、まわりをみわたしてみると、介護で自分の時間をもてないという方や、私と同年代でも、

旦那さんのおばあさんの介護をしている方などの話を良く聞きます。

川西では、「子育て」、「介護」の問題で悩んでいる方がたくさんいるはず。

### まわりの温かさに感謝

幸い私は、理解ある周りのみなさんのおかげで、仕事をしながらの子育てライフを楽しませていただいています。農繁期で

両親が忙しい時には、近所の方々が我が家の宝物達を守って下さっています。ご近所のみなさんが親身になって、子供達を見守ってくれるところは、川西の誇るべき長所だと思います。

私は、そんなあったかくて優しい川西町に嫁いで来れた事を誇りに思っています。

### プロフィール

ほしな ゆかり

昭和56年米沢市生まれ。平成16年結婚し、川西町民に。2人の子供の母。来年春、第3子出産予定。現在、祖父母、父母、夫、子供2人の8人家族。

### 編集のなごり

▼豊穣の秋、豊作が予想されても素直に喜べない今日この頃。▼先日、何十年ぶりに米坂線に乗りました。現在運行されている車両は「キハ型」と言われるもので、全国でも米坂線ともう一路線しか走っていないそうです。その貴重な車両も今年度下期には姿を消すというわけです。▼現在は三色の車両があるそうですが、旧国鉄色（朱色＋クリーム色）の車両は確か私が学生時代に利用していたものです。多くの鉄道ファンが最後の雄姿を撮りに毎週末訪れているようです。▼黄金色に輝く穂波の中を朱色の車両がガタン、ゴトンと走る様はなんとも安らぎと懐かしさを与えてくれます。まだまだ残したい風景の一つです。（欣）

- |       |       |
|-------|-------|
| 発行責任者 | 金子 一郎 |
| 委員長   | 高橋 昭夫 |
| 副委員長  | 斉藤 智志 |
| 委員    | 佐々木賢一 |
| 〃     | 高橋 建一 |
| 〃     | 遠藤 章一 |
| 〃     | 橋本 欣一 |